

# 焼き板

1 所要時間 2時間

2 服装 活動しやすい服装（長ズボン必須、長袖は着用が望ましい）

## 3 準備物

- ・ 利用者 軍手 古新聞（1グループで2日分程度）
- ・ 施設側 一班ごとの基本貸出しセット（最大24セット）

品名	数量	品名	数量
火ばさみ	10	アルミケース	1
たわし	10	はさみ	1
不燃布	10	木工用ボンド	1
鉄缶	1	まき	約10本

## 4 活動の流れ（●部は別添写真資料あり）

分	活動内容
0	センター職員による全体説明（小集会場）
15	●鉄缶、用具セットの受け取り（鉄缶係、用具係 各1名ずつ） 各貸出し物の諸注意を聞く。  ・数を確認する（用具係）
40	●野外炊事場の坂の両端に鉄缶を設置し、板を焼く。  ●焼いた杉板をたわしでけずり、布で拭き仕上げる。
80	●炊事場テーブルに移動して目玉、ヒートン、ひもを付ける。  ●カラーテックスで色を塗る。
100	用具の数を確認し、返却する。
120	片づけ・解散

## 5 活動の留意点

### (1) 活動計画上の留意点

[発注について]

- ・ 各班の人数は1セットで最大10名まで活動可能である。形については、角板、イノシシ、イルカ、ミミズクの中から選択する。
- ・ 着色は白、赤、桃、黄、黄緑、水色、紫のカラーテックスで行う。発注は学校の希望に応じて別添の提出書類で行う。発注数は2人で1本を目安とし、グループ内で共有する。

(例) [35人学級一班7人のカラーテックスの発注]

1班	白、赤、桃、黄	各1本	4班	白、赤、桃、黄	各1本
2班	白、黄緑、水色、紫	各1本	5班	白、黄緑、水色、紫	各1本
3班	白、赤、桃、黄	各1本			
合計	白5 赤3 桃3 黄3 黄緑2 水色2 紫2	合計	20本発注		

※1班と2班、3班と4班と5班は互いに色を交換しながら使ってもよい。

※白、黄色などは発注頻度が比較的多いため、この例では白を全ての班で使えるようにした。

板とカラーテックス以外に渡す部品は以下のとおり。

- ・ ヒートン(留め具)
- ・ 目玉(動物型のみ使用)
- イノシシ、イルカ…1つ
- ミミズク…2つ
- ・ ひも(つるし用)

### <雨天時の対応について>

雨天時の活動場所は野外活動棟軒下、第1調理場、雨天炊事場を使つての活動が可能である。団体の人数規模などに応じて使い分けることが可能なので、雨天が予想される場合には活動の前日に職員と打ち合わせをすること。なお、各施設の最大収容人数は以下のとおり。

野外活動棟軒下	・・・35名程度	第1調理場	・・・35名程度
雨天炊事場	・・・上段/下段各35名程度		

### (2) 安全管理上の留意点

- ・ 火を扱う活動の時は必ず軍手を着用すること。
- ・ マッチや、火の取り扱いには十分に留意し、マッチの管理は指導者はセンター職員と協力して行うこと。
- ・ 板を焼き始める時には、周りに燃え移りやすいものがないか(特に新聞紙、落ち葉)確認して行うこと。
- ・ 鉄缶の設置は、坂の上り方向に鉄缶の口が向くように置き、隣り合った班と5m～10m程度間隔を取るようにする。強風のもとで実施する場合は、できる限り鉄缶どうしの間隔を広げて活動すること。
- ・ 火の粉が飛んで穴があくことがあるので、ナイロン素材の服は好ましくない。天候により着用をやむを得ない場合は、十分に火気に注意すること。

### (3) 施設運営上の留意点

- ・ 板を配った段階で板に割れがあれば交換を受け付ける。ただし板を焼いた段階での割れに関しては交換することができないので注意。
- ・ 欠席等の理由で焼き板を行わない場合は職員に板等を返却すること。その場合、料金は徴収しない。
- ・ カラーテックスを使用する時は、施設の備品に付かないように新聞紙等を敷いて行う。

- ・ 活動終了後、完成した焼き板は決して部屋の中に持ち込まず、宿舎の玄関等に新聞紙等を敷いて十二分に乾かす。
- ・ 使用済みのカラーテックについては、責任者が回収し職員に渡す。

## 6 活動指導資料

分	活動内容	指導者の支援	センター職員の支援
0	センター職員による全体説明（小集会場 雨天：野外活動棟ホール）		
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄缶と用具セットの受け取り（鉄缶係、用具係 各1名ずつ）</li> <li>・ 各貸出し物について説明</li> <li>・ 貸出し数の確認(用具係)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発注した板の枚数や割れの確認</li> <li>・ 鉄缶係に鉄缶の配置場所の指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具係への説明（野外活動棟クラフト室前）</li> <li>・ 鉄缶係への説明（野外活動棟前）</li> </ul>
40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野外炊事場の坂の両端に鉄缶を設置し、板を焼く</li> <li>・ 焼いた杉板をたわしでけずり、布で拭き仕上げる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 炊事場付近で安全管理</li> <li>・ 目玉、ヒートン、ひも、カラーテックスの準備</li> <li>・ 使い終わった道具から道具箱に戻すよう指導する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 炊事場付近で安全管理</li> <li>・ 使い終わった鉄缶から安全な場所に移動させる</li> </ul>
80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 炊事場のテーブルに移動して目玉、ヒートン、ひもの取り付け</li> <li>・ カラーテックスで着色</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目玉、ヒートン、ひもを各個人に配布</li> <li>・ カラーテックスの配布</li> <li>・ きりでヒートンの予備穴を開ける</li> <li>・ 火の管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野外活動棟付近で用具点検の準備</li> </ul>
100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具の数を確認し、返却</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火が大きい鉄缶は時間をあけて灰捨て場に運ぶ</li> <li>※火が小さくならない場合は職員に声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野外活動棟クラフト室前で用具の点検</li> <li>・ 灰捨て場で鉄缶の受け取り</li> </ul>
120	片づけ・用具の返却 解散		